

「気象庁業務評価レポート(平成 27 年度版)」の公表について

気象庁の施策や業務について、平成 26 年度の実績評価と、平成 27 年度の業務目標などをまとめた「気象庁業務評価レポート(平成 27 年度版)」を公表しました。

気象庁は、気象業務の健全な発達を図ることにより、災害の予防、交通安全の確保、産業の興隆等に寄与することを使命としています。これらの使命を果たすための気象庁の業務が効果的・効率的に実施されているかを評価・検証し、更なる改善につなげることを目的に業務評価を実施しており、その概要をまとめた「気象庁業務評価レポート」を平成 14 年度から毎年公表してきました。

このたび、平成 26 年度の実績評価と平成 27 年度の業務目標、気象情報の利活用状況調査などをまとめた「気象庁業務評価レポート(平成 27 年度版)」を公表しました。レポートの全文は、気象庁ホームページから PDF 版をダウンロードできます。

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/hyouka/hyouka-report/27report/27report_index.html

(平成 27 年度版レポートの主な内容)

- 平成 26 年度の実績評価のうち、「大雨警報のための雨量予測精度」については、これまでの技術開発の成果が結実する形で降水域の移動・盛衰予測が改善した結果、指標に大きな改善が見られました。
- 平成 27 年度の業績目標として、御嶽山の噴火を受け、噴火発生の観測事実を迅速、端的かつ的確に伝える噴火速報の発表を平成 27 年度に開始するなどの「火山に関する情報の充実」を新たに設定しました。
- 天気予報等の認知度や満足度等について、平成 26 年度にインターネットを活用して実施した全国的なアンケート調査の結果を掲載しています。

<本件に関する問い合わせ先>

気象庁総務部総務課
業務評価室長 03-3212-8341 内線 2129

気象庁業務評価レポート（平成 27 年度版）の内容

（本文）

- 第 1 章 気象庁の業務評価
- 第 2 章 政策アセスメント（事業評価方式）
- 第 3 章 政策チェックアップ（実績評価方式）
- 第 4 章 その他の評価
- 第 5 章 気象情報の利活用状況調査
- 第 6 章 業務評価の推進

（参考資料）

- 資料 1 政策アセスメント評価書・事後検証シート
- 資料 2 平成 26 年度実績評価の結果
- 資料 3 平成 27 年度業務目標
- 資料 4 事業評価（その他施設費）の評価表